



# わがまち紹介

## まちなかに残る貴重な緑の空間：京大農場

### 京大農場 本場

京都大学大学院農学研究科附属農場は、大正13年農学部創設にともなうて北部キャンパスの農学部構内に開設され、その後変遷を重ねて、現在は高槻市八丁畷町の本場、古曽部町の古曽部温室および農学部構内の京都農場から構成されている。

1928年に開設された農場は本館、別館（技官室）、実験棟からなる。正面に見える木造の立派な本館は、西欧的な景観を醸し出して80年もたっているとは思われない。

この本館の前に「弥生式文化安満遺跡」と書いた石柱が立っている。京大本農場では、農学博士北島宣先生から全体説明と安満遺跡をスライドで説明して頂きました。

### 蔬菜 片岡先生説明

現在栽培されているものは（イチゴ・ミニトマト・アスパラガス・ダイショウ・タマネギ等）ビニールハ

ウスでは、イチゴとトマトの栽培研究をしておられ、栽培しやすく、より糖度が高く商品価値の高いイチゴやトマトが求められる傾向にあり、高温条件下で安定した結果性を求め、研究している。

### 水田 寺石先生説明

苗植の終わったヒノヒカリの水田を見ながら説明を受けました。

栽培種としては、ヒノヒカリ、あいちのかおり、ミナミヒカリの3種です。

エジプト考古学の権威吉村教授はビールメーカーとの共同研究において、壁画をもとにあらゆる考古学的分析を駆使し、古代エジプトビールを再現することに成功、その際、古代エジプトでビール醸造に使用されていた「エンマー小麦」の種子を提供し

たのが京大農学研究室。公表された



たこの成果を大学の知の社会還元として世に提供したいと考えたのが京大の尾池総長で、早大の白井総長に呼びかけ両大学で共同ブランドビールを開発する計画がまとまった。研究チームを発足させ、「古代種小麦を使用した美味な現代ビール」という商品コンセプトをまとめました。

### 果樹園 羽生先生説明

（梨・柿・梅・桃・ぶどう・他）新しい梨は、交配で美味しく長持ちする物をと研究開発してきた。

梨が出来るまでには、約20年ほどかかるとのこと。平核無（ひらたねなし）は突然変異で染色体が奇数で子供が出来ない。巨峰は36粒にするのが美味しい。

### 古曽部温室

京大農学部の付属農場で、高槻市古曽部にあり、大正13年に創設された。正門を入るとノリナやヒマラヤ杉が見え、その奥に大きな温室の建屋が目に入る。札幌先生の案内で園内を見学、温室が主体で特に胡蝶蘭の栽培でマニアには広く知られている。主温室は4室、洋蘭の栽培が行なわれていたが最盛期は過ぎていた。

蘭以外にもパフィオペディアム、カトレア、デンドロビウム、ユーム、シクラメン、カランコエ等多くの草花も栽培されていた。正月用のシクラメンの研究もしておられた。

京大植物園と言われているときには、サボテンや食虫植物で有名なつたこのことでした。

この遺跡は、昭和3年（1938）に京大農場を建設する際の工事中に見えられたといわれている。三島地方で初めて米作りを行ったのは、安満の集落である。この遺跡は住居群のまわりに濠をめぐらす環濠集落跡で、南側には用水路をそなえた水田がひろがり、東側と西側は墓地になっていた。全体では東西1500m、南北600mに及び、当時の土地利

用が明らかになっている貴重な遺跡である。多数の弥生土器とともに、青銅製のヤジリや木製の農具、珍しい漆塗りのカシヤクシ、勾玉などの装身具などもみつかった。最古のムラは京大農場の本館のあたりで見つかっている。ムラの周りには幅4m、深さ1.2mほどの2本の溝を平行してめぐらされていた。溝の外側には土塁が築かれていたとみられ、溝がムラの排水防湿だけでなく、外敵の侵入を防ぐ為の施設になっていた。



安満遺跡は、大溝や墓あるいは土器や木製農具などさまざまな遺構、遺物が見つかっていることから弥生時代のムラを具体的に復元することが出来る数少ない貴重な遺跡と

### 安満遺跡

### 弥生時代 集落跡

この遺跡は、昭和3年（1938）に京大農場を建設する際の工事中に見えられたといわれている。三島地方で初めて米作りを行ったのは、安満の集落である。この遺跡は住居群のまわりに濠をめぐらす環濠集落跡で、南側には用水路をそなえた水田がひろがり、東側と西側は墓地になっていた。全体では東西1500m、南北600mに及び、当時の土地利



用が明らかになっている貴重な遺跡である。多数の弥生土器とともに、青銅製のヤジリや木製の農具、珍しい漆塗りのカシヤクシ、勾玉などの装身具などもみつかった。最古のムラは京大農場の本館のあたりで見つかっている。ムラの周りには幅4m、深さ1.2mほどの2本の溝を平行してめぐらされていた。溝の外側には土塁が築かれていたとみられ、溝がムラの排水防湿だけでなく、外敵の侵入を防ぐ為の施設になっていた。

### 7月度行事予定

“淀川の偉大さ大切さと介護を考える：大塚地区”

月 日：平成19年7月19日（木）  
集合場所：JR高槻駅南 市バス④乗り場 13:00 集合  
順 路：JR高槻駅南→東和町下車→ローズマリ→大塚神社→善立寺→西応寺→洪水記念碑→枚方大橋北詰→高槻駅

### 6月度行事予定

“四季を味わい、古き都を散策：長岡京市”

月 日：平成19年6月21日（木）  
集合場所：阪急長岡天神駅 改札出口 13:00 集合  
順 路：阪急長岡天神駅→長岡天満宮→埋蔵文化財センター→寂照院→走田神社→長岡市立図書館→長岡天神駅  
長岡京市ふるさとガイドの会に案内して頂きます